

令和元年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

3件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H30	R1	R2	R3	R4	R5		
沖縄	沖縄	伊江村	伊江村農産物安心安全対策協議会	●	●	○ □				C	アジアン野菜の生産を軸に、加工、販売まで含めたビジネスモデル構築を目指し、専門家による栽培技術指導、祭りを活用したアジアン野菜を使った料理のPR等を行い、アジアン野菜の普及啓発活動についての目標を達成したが、売上げ、雇用についての目標は未達成。 次年度以降は、幹事会社の休眠の影響を受け、事業は中止となってしまったが、伊江島の農業経営は潜在的に高い収益性を保持しているとみられることから、この経験を今後の取組と組織力向上に繋げてもらいたい。
沖縄	沖縄	西原町	西原町観光まちづくり協議会	●	●	○ □				A	「文教のまち」西原における観光振興を通じ、地域社会や地域産業の活性化を図るため、観光コンテンツの開発、それに関わることできる人材育成を目指し、教育民泊モニター、農地レンタル、農業・お仕事体験イベント等を実施するとともに、これまで実績が無かった民泊受入れ事業を立ち上げたことで、売上げ、雇用、交流人口について目標を達成している。 次年度以降も、観光コンテンツの開発、魅力的なプログラムの開発等の取組、成果に期待ができる。
沖縄	沖縄	粟国村	粟国島活性化協議会		●	○ □				A	ブーゲンビリアを活用した地域活性化を目指し、体制構築に向けたワークショップ、先進地視察、ブーゲンビリア育成技術指導、専門家ヒアリング、ブーゲンビリア祭り(イベント)、農泊体験、普及啓発等を実施し、目標である、交流人口、島外からの移住者数、島外への提出者数について目標を達成している。なお、普及啓発活動の目標についても達成している。 新型コロナウィルスの感染症の影響による都市圏との交流自粛等に懸念が生じ、やむを得ず次年度以降の事業は中止となってしまったが、今回の経験を踏まえた活動の再開に期待したい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

【令和元年度農山漁村振興交付金(地域活性化対策)の評価概要】

○特記事項等

今回は、平成30年度採択の2地区、令和元年度採択の1地区的評価を行い、総合評価は2地区はA評価、1地区はC評価であった。

伊江村農産物安心安全対策協議会はアジアン野菜の生産を軸とした活動を行い、祭り等のイベントで普及啓発を行うなど取組んでいたが、幹事団体が休眠状態になりその後、新型コロナウィルスの感染症の影響もあり活動が行われていない。

西原町観光まちづくり協議会は地域ぐるみのイベントを軸に、幅広い活動が行われており、情報発信にも積極的に取組んでいる。

粟国島活性化協議会はブーゲンビリアの生産を軸とした活動を行い、祭り等のイベントで普及啓発を行うなど積極的に取組んでいたが、新型コロナウィルスの感染症の影響による都市圏との交流自粛等に懸念が生じ、次年度以降の事業を中止する。

伊江村農産物安心安全対策協議会はH30は適切に事業が実施されたところであるが、R元は目標未達成となった。

西原町観光まちづくり協議会及び粟国島活性化協議会の2地区については、地域の活性化に貢献しており、適切に事業が実施され着実に成果が現れていると言える。

伊江村農産物安心安全対策協議会及び粟国島活性化協議会の2地区については、次年度以降の体制再構築のため事業を中止する。

【令和2年度評価委員会の議事概要】

【評価委員会】

1. 日 時 令和2年9月30日(水)10時00分～12時00分

2. 場 所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名 (五十音順)
有木 真理 リクルートライフスタイル沖縄社長
幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役会長
杉村 泰彦(委員長) 琉球大学農学部准教授

・評価委員会事務局 沖縄総合事務局 2名【評価委員会】

4. 議事概要【評価委員会】

1)農山漁村振興交付金の評価について

地域活性化対策の各実施団体の評価内容(案)について、委員からの意見聴取を行った。

2)農山漁村振興交付金の評価結果(案)のとりまとめ

上記1)の結果を踏まえ、地域活性化対策について、公表用評価コメントを様式にとりまとめた。

5. 評価委員会委員の主な意見

① 伊江村農産物安心安全対策協議会

アジアン野菜の一貫したビジネスモデルの構築を目指し、取組を行った。元年度は幹事会社の休眠により、目標は未達成、事業を中止することとなったが、伊江島の優良な農業人材を生かし、この経験を糧に組織力の向上を図って今後の活動に繋げていただきたい。

② 西原町観光まちづくり協議会

地域社会・産業の活性化を図るための観光コンテンツ開発や人材育成に取り組み、課題であった宿泊施設不足の解決のために、民泊受入れ体制をゼロから築き上げた成果は大きい。次年度以降の取組にも期待ができる。

③ 粟国島活性化協議会

島内の特産品を活用した観光資源を充実させて地域活性化を目指し、都市圏との交流を通じた経済・コミュニティの活性化に向けた目標を達成した。コロナ禍の影響により都市圏との交流の自粛等の理由による事業の中止はやむを得ないが、一度リセットした上で今後の活動に期待したい。